



# 平成28年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成27年11月13日

上場取引所 東

上場会社名 IJTテクノロジーホールディングス株式会社

コード番号 7315 URL <http://www.iitt-hd.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 原田 理志

問合せ先責任者 (役職名) 専務取締役

(氏名) 増田 克己

TEL 03-5715-2681

四半期報告書提出予定日 平成27年11月13日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

## 1. 平成28年3月期第2四半期の連結業績(平成27年4月1日～平成27年9月30日)

### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
28年3月期第2四半期	69,208	△9.6	1,333	△46.9	752	△75.9	1,048	△47.6
27年3月期第2四半期	76,581	—	2,509	—	3,122	—	2,001	—

(注) 包括利益 28年3月期第2四半期 △707百万円 (—%) 27年3月期第2四半期 1,676百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
28年3月期第2四半期	21.54	—
27年3月期第2四半期	41.11	—

### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
28年3月期第2四半期	112,925	63,521	51.8
27年3月期	126,401	66,370	46.5

(参考) 自己資本 28年3月期第2四半期 58,490百万円 27年3月期 58,757百万円

## 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
27年3月期	—	0.00	—	8.00	8.00
28年3月期	—	0.00	—	—	—
28年3月期(予想)	—	—	—	8.00	8.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

## 3. 平成28年3月期の連結業績予想(平成27年4月1日～平成28年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	136,000	△8.3	2,200	△51.8	1,400	△77.0	1,100	△72.5	22.59

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 有  
新規 一社 (社名) 、 除外 1社 (社名) PT.TJForge Indonesia
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
  - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
  - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
  - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	28年3月期2Q	49,154,282 株	27年3月期	49,154,282 株
② 期末自己株式数	28年3月期2Q	462,868 株	27年3月期	462,645 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	28年3月期2Q	48,691,478 株	27年3月期2Q	48,692,333 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

・この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外ですが、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続は終了しております。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件および業績予想の利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

・四半期決算補足説明資料は平成27年11月13日(金)に当社ウェブサイトに掲載いたします。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	9
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(セグメント情報等)	10

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国の経済は、政府の経済政策や日本銀行の金融緩和の効果が持続したことにより、緩やかな回復基調の中で推移する一方、中国の景気減速の顕在化やアセアン経済の停滞等、先行き不透明な状況が続きました。

トラック市場におきましては、国内は景気回復に支えられ堅調に推移しましたが、海外ではインドネシア等アセアン新興国で需要が減少しました。また、建設機械市場におきましては、国内では公共投資の減少やレンタル向け需要の一巡等を受け需要は減少し、海外では中国の需要が大幅に減少するとともに、インドネシアを中心とした新興国での需要も低迷しました。

このような情勢下、当第2四半期連結累計期間の売上高は69,208百万円と前年同期に比べ7,373百万円(△9.6%)の減収、営業利益は1,333百万円と前年同期に比べ1,176百万円(△46.9%)の減益、経常利益は752百万円と前年同期に比べ2,369百万円(△75.9%)の減益、親会社株主に帰属する四半期純利益につきましては1,048百万円と前年同期に比べ953百万円(△47.6%)の減益となりました。

## (2) 財政状態に関する説明

## (資産)

当第2四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べ13,475百万円減少し、112,925百万円となりました。これは主に第1四半期連結会計期間より、従来連結子会社であったPT. TJForge Indonesiaは、第三者割当増資を行ったことにより持分比率が低下したため、連結の範囲から除外し持分法適用の範囲に含めた影響等により、現金及び預金が3,553百万円、有形固定資産が12,120百万円それぞれ減少し、投資有価証券が4,491百万円増加したことによるものであります。

## (負債)

負債は、前連結会計年度末に比べ10,626百万円減少し、49,403百万円となりました。これは主に借入金が6,308百万円、未払法人税等が1,045百万円それぞれ減少したことによるものであります。

## (純資産)

純資産は、前連結会計年度末に比べ2,849百万円減少し、63,521百万円となりました。これは主に第1四半期連結会計期間より、従来連結子会社であったPT. TJForge Indonesiaは、第三者割当増資を行ったことにより持分比率が低下したため、連結の範囲から除外し持分法適用の範囲に含めた影響等により、非支配株主持分が2,582百万円減少したことによるものであります。

## (キャッシュ・フローの状況の分析)

当第2四半期連結累計期間末における現金及び現金同等物(以下「資金」という。)は、前連結会計年度末と比べ3,559百万円減少し、7,594百万円となりました。なお、前連結会計年度末に連結子会社であったPT. TJForge Indonesiaの現金及び現金同等物7,972百万円は当第2四半期連結累計期間において、連結の範囲から除外したことに伴い減少しております。

当第2四半期連結累計期間に係る区分ごとのキャッシュ・フローの状況は以下のとおりであります。

## (営業活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間における営業活動の結果獲得した資金は、3,960百万円(前年同期比31.3%増)となりました。

主な内訳は、税金等調整前四半期純利益1,348百万円、減価償却費4,395百万円、仕入債務の減少額1,118百万円、法人税等の支払額1,350百万円であります。

## (投資活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間における投資活動の結果使用した資金は、2,026百万円(前年同期比65.1%減)となりました。

主な内訳は、短期貸付金の純減少額が3,899百万円、有形及び無形固定資産の取得による支出が6,176百万円であったこと等によります。なお、短期貸付金の純減少額については、第1四半期連結会計期間より、従来連結子会社であったPT. TJForge Indonesiaが、第三者割当増資を行ったことにより持分比率が低下したため、連結の範囲から除外した後に返済を受けたためであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間における財務活動の結果獲得した資金は、2,777百万円（前年同期比447.3%増）となりました。

主な内訳は、長期借入金の返済による支出が3,923百万円、短期借入金の純増加額が2,979百万円、従来連結子会社であったPT. TJForge Indonesiaにおいて、第三者割当増資実施時の非支配株主からの払込みによる収入が4,273百万円等であります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、平成27年10月30日に公表しました連結業績予想から変更はありません。

## 2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

## (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

第1四半期連結会計期間より、PT.TJForge Indonesiaは、事業拡大に伴う設備投資実施のため、第三者割当増資を行ったことにより持分比率が低下したため、連結の範囲から除外し、持分法の適用範囲に含めております。

## (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

税金費用については、当第2四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法を採用しております。ただし、当該見積実効税率を用いて税金費用を計算すると著しく合理性を欠く結果となる場合には、法定実効税率を使用する方法を採っております。

## (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(会計方針の変更)

当第2四半期連結累計期間 (自 平成27年4月1日 至 平成27年9月30日)
<p>「企業結合に関する会計基準」(企業会計基準第21号 平成25年9月13日。以下「企業結合会計基準」という。)、 「連結財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第22号 平成25年9月13日。以下「連結会計基準」という。 )及び「事業分離等に関する会計基準」(企業会計基準第7号 平成25年9月13日。以下「事業分離等会計基準」という。)等を、第1四半期連結会計期間から適用し、支配が継続している場合の子会社に対する当社の持分変動による差額を資本剰余金として計上するとともに、取得関連費用を発生した連結会計年度の費用として計上する方法に変更いたしました。また、第1四半期連結会計期間の期首以後実施される企業結合については、暫定的な会計処理の確定による取得原価の配分額の見直しを企業結合日の属する四半期連結会計期間の四半期連結財務諸表に反映させる方法に変更いたします。加えて、四半期純利益等の表示の変更及び少数株主持分から非支配株主持分への表示の変更を行っております。当該表示の変更を反映させるため、前第2四半期連結累計期間及び前連結会計年度については、四半期連結財務諸表及び連結財務諸表の組替えを行っております。</p> <p>当第2四半期連結累計期間の四半期連結キャッシュ・フロー計算書においては、連結範囲の変動を伴わない子会社株式の取得又は売却に係るキャッシュ・フローについては、「財務活動によるキャッシュ・フロー」の区分に記載し、連結範囲の変動を伴う子会社株式の取得関連費用もしくは連結範囲の変動を伴わない子会社株式の取得又は売却に関連して生じた費用に係るキャッシュ・フローは、「営業活動によるキャッシュ・フロー」の区分に記載する方法に変更しております。</p> <p>企業結合会計基準等の適用については、企業結合会計基準第58-2項(4)、連結会計基準第44-5項(4)及び事業分離等会計基準第57-4項(4)に定める経過的な取扱いに従っており、第1四半期連結会計期間の期首時点から将来にわたって適用しております。</p> <p>なお、当第2四半期連結累計期間において、四半期連結財務諸表に与える影響額はありません。</p>

## 3. 四半期連結財務諸表

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成27年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成27年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	11,185	7,632
受取手形及び売掛金	21,286	20,877
たな卸資産	8,353	8,051
その他	4,326	3,060
貸倒引当金	△2	△1
流動資産合計	45,149	39,619
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	18,174	15,100
機械装置及び運搬具(純額)	28,589	27,299
土地	17,658	15,863
建設仮勘定	9,262	3,414
その他(純額)	2,471	2,359
有形固定資産合計	76,156	64,036
無形固定資産	729	665
投資その他の資産		
その他	4,919	9,157
貸倒引当金	△553	△553
投資その他の資産合計	4,365	8,604
固定資産合計	81,251	73,305
資産合計	126,401	112,925
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	17,772	17,052
電子記録債務	1,858	1,995
短期借入金	12,105	7,879
未払法人税等	1,572	526
賞与引当金	1,880	1,901
その他	9,748	7,119
流動負債合計	44,938	36,474
固定負債		
長期借入金	7,379	5,296
再評価に係る繰延税金負債	915	915
環境対策引当金	443	370
退職給付に係る負債	3,630	3,516
その他	2,723	2,830
固定負債合計	15,092	12,929
負債合計	60,030	49,403

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成27年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成27年9月30日)
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	5,500	5,500
資本剰余金	22,538	22,538
利益剰余金	28,226	28,885
自己株式	△129	△129
株主資本合計	56,136	56,794
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	277	194
土地再評価差額金	1,639	1,639
為替換算調整勘定	884	32
退職給付に係る調整累計額	△180	△170
その他の包括利益累計額合計	2,621	1,695
非支配株主持分	7,613	5,030
純資産合計	66,370	63,521
負債純資産合計	126,401	112,925



## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)
売上高	76,581	69,208
売上原価	69,862	63,393
売上総利益	6,718	5,814
販売費及び一般管理費		
運搬費	1,000	919
給料及び手当	1,318	1,589
賞与引当金繰入額	234	282
退職給付費用	46	55
その他	1,607	1,632
販売費及び一般管理費合計	4,208	4,480
営業利益	2,509	1,333
営業外収益		
受取利息	23	24
受取配当金	67	72
スクラップ売却益	159	106
為替差益	426	—
持分法による投資利益	131	—
関税還付金	24	72
その他	106	82
営業外収益合計	940	358
営業外費用		
支払利息	123	152
為替差損	—	537
シンジケートローン手数料	65	37
持分法による投資損失	—	171
その他	138	41
営業外費用合計	327	939
経常利益	3,122	752
特別利益		
固定資産売却益	0	43
持分変動利益	—	758
特別利益合計	0	801
特別損失		
固定資産除売却損	35	88
減損損失	—	100
その他	—	16
特別損失合計	35	205
税金等調整前四半期純利益	3,087	1,348
法人税等	1,231	611
四半期純利益	1,855	737
非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△146	△311
親会社株主に帰属する四半期純利益	2,001	1,048

四半期連結包括利益計算書  
第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)
四半期純利益	1,855	737
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	69	△74
為替換算調整勘定	△399	△1,195
退職給付に係る調整額	31	9
持分法適用会社に対する持分相当額	119	△183
その他の包括利益合計	△178	△1,444
四半期包括利益	1,676	△707
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,951	122
非支配株主に係る四半期包括利益	△274	△830

## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	3,087	1,348
減価償却費	4,160	4,395
のれん償却額	47	47
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△20	△0
受取利息及び受取配当金	△91	△97
支払利息	123	152
持分法による投資損益(△は益)	△131	171
固定資産除売却損益(△は益)	35	45
減損損失	—	100
持分変動損益(△は益)	—	△757
売上債権の増減額(△は増加)	△3,674	282
たな卸資産の増減額(△は増加)	△465	12
仕入債務の増減額(△は減少)	3,169	△1,118
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	10	△49
その他の流動資産の増減額(△は増加)	△270	510
その他の流動負債の増減額(△は減少)	△1,909	517
その他	△56	△345
小計	4,015	5,217
利息及び配当金の受取額	198	244
利息の支払額	△131	△150
法人税等の支払額	△1,067	△1,350
営業活動によるキャッシュ・フロー	3,016	3,960
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有形及び無形固定資産の取得による支出	△5,796	△6,176
有形固定資産の売却による収入	31	191
短期貸付金の純増減額(△は増加)	△0	3,899
投資その他の資産の増減額(△は増加)	△22	65
その他	△21	△5
投資活動によるキャッシュ・フロー	△5,808	△2,026
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入金の純増減額(△は減少)	488	2,979
長期借入れによる収入	4,696	—
長期借入金の返済による支出	△4,943	△3,923
自己株式の取得による支出	△0	△0
非支配株主からの払込みによる収入	—	4,273
配当金の支払額	△341	△390
非支配株主への配当金の支払額	△23	△24
リース債務の返済による支出	△84	△137
セール・アンド・リースバックによる収入	715	—
財務活動によるキャッシュ・フロー	507	2,777
現金及び現金同等物に係る換算差額	△48	△298
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△2,332	4,413
現金及び現金同等物の期首残高	13,031	11,153
連結の範囲の変更に伴う現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	—	△7,972
現金及び現金同等物の四半期末残高	10,699	7,594

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

当社グループは自動車用等関連部品製造事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。